

第21回「議員と語りかい」報告書

4班山ヶ野、安良 (No.1)

開催日	平成28年11月8日(火) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	紫尾田活性化センター		
団体名	山ヶ野、安良地区	参加人員	8人 (男 8人 : 女 0人)
出席議員	宮内 博、松元 深、時任 英寛、阿多 己清、塩井川 幸生、蔵原 勇		
役割分担	班 長 (塩井川 幸生) 副班長 (松元 深) 記録係 (阿多 己清)		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

☆山ヶ野地区の館長の話より

山ヶ野地区は、140世帯で、8自治会ある。小さい自治会は、7世帯、大きい所で36世帯である。65歳以上の高齢化率は60%超。1年間にボランティア活動を3回実施。道路清掃を1回。小学校跡の清掃作業も1回実施。グラウンドゴルフ大会は年2回開催。敬老会は、山ヶ野地区だけで開催していたが、今年は2地区合同で開催。来年度から公民館主催で開催予定。ある意味、地区内の整備等の要望は無いが、ソフト面、生活面の充実が課題だと思っている。高齢者が多い中ではあるが、自分達でやっというと考えている。まちづくり計画書の見直しをした。新たな地区の要望は出なかったもので、こちらで感じたものを掲載した。住民の要望がない状況だ。

◆地区の要望がないのはおかしい。現状のままではなく、10年先の横川を考えるべきではないか。これでは活性化はできないのではないかと思うがどうか。

◇まちづくり計画の中で、ハード面はある程度計画的に進んでいる。60%以上の高齢化率を考えると、ソフト面はまだこれからだ。地域振興を図るには資金作りが必要だ。農地の多面的支払い事業がある。田や畑を守るために、だれか地域の人がリーダーになってもらい、取りまとめ、事業を行えば補助金が出ていい資金作りになる。やりだしたらいい事業である。ただ、市役所職員はしてくれないので事務的作業が少し大変だ。まとめる人材が必要なのがネックである。

◆ハード面だけでなく、みんなで何かやろうということになれば、それで地域の活性化にはなる。無理に引っ張っていても続かない。数は少ないが、地域の住民が喜ぶことをやっというと考えている。以前、高木地区の小学校跡が荒れていたが、計画書にあげ、20年ぶり、30年ぶりに草払いをした。きれいになった広場でグラウンドゴルフをした。しかし、3年目にきつくなり止めた。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇山ヶ野ウォーキングは好評だが、地元の方の協力もあるのか。

◆15回実施している。スタッフが200~300人いるが、高木地区が10人程度、山ヶ野地区が30人ほど、あとは周りからの応援である。

◇丸岡公園のグラウンドゴルフは、県内外から来られ盛会だが誰が主催しているのか。

◆横川のグラウンドゴルフ協会、地区とか県とかの協会である。地元の協会としても協力、主管している。毎日のように行われており、とても好評である。

◆一番心配しているのは、防災面だ。集中豪雨やスーパー台風が来た時の避難をどうするか。金山のふれあい交流館が避難場所になっているが、避難の仕方、細かく計画を自治会単位で決めていきたい。個人宅を含めて、避難のレベルを決めていきたい。現在の防災無線は遅い。30分以上かかるので、防災ラジオを配付した方がいいのではないかと。防災に特化したラジオをどこか配付していたが。

◇垂水市だったと思う。防災行政無線はラップ式で各家庭には届きにくいので、自治会等の戸別コミュニティ無線を繋ぐ取組をしている。また、FMきりしまの活用策も議論している。ただ、横川、福山、溝辺の一部に電波が届かないので、エリアにするためには、アンテナの増設が必要だ。でも多額の費用がかかる。その財源がない状況だ。防災のための周知の仕方は数多くあっていいので、今後も議会でも議論していきたい。

◆戸別の無線機を使用しない自治会もあり、現在、電話で連絡をしている。

◇きめ細かな避難計画、連絡体制が必要だ。市職員の支援体制も支障のないような配置にしていくべきと考えている。個別具体的な避難計画、支援体制づくりは必要だと思う。館長が言われるように、一次避難所を身近な場所に指定すればいいと思う。

◆十三谷地区の自治会長は、早めに自分の車で公民館に連れて行っている。ただ、間に合わない時にどうするかである。個人の家とか避難先を決めていけばいい。それをやりたい。

◆中学校に通う娘がいる。迎えに行った時、学校周辺、バス停付近がとても暗い。現在、外灯が2基あるが、バス待合所に増設をお願いできないか。PTAには話をしている。

◇集落のない所は、安全灯で、電気料も市が負担している。学校の所であれば、学校を通じて教育委員会にも要望してほしい。議会からも要請していく。

(後日の調査で、当時、スクールバスの待合所として町教委で建設したことが判明。安心安全課としては、建物への安全灯の整備は、実施していない。今後、教委への設置要望を行っていくとのこと。)

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆高齢化で道路の草払い作業が大変だ。将来的にできなくなったらどうなるのか。

◇基本的には集落内は集落で、集落間は市が行っている。どこもできなくなったら市が年1、2回シルバー等をお願いしている。自分達でできる所は地区でしてほしい。

◆役場の職員について、全体を考えて、特に産業建設課等は、ある程度地域がわかる職員を1/3程度は配置してほしい。上司も毎年代わり大変だと聞く。

◇農政関係を考えて、溝辺、横川、牧園は地元がわかる職員を配置すべきと言ってきた。将来的には、支所となり20人程度の職員が配置される。今後、議会としても声をあげていきたい。

◆補助金関係で、以前に公民館の修理で3社見積りを出した。事業を進める中で、見積書の経費の内訳、中身を指摘された。また、フローリングのカタログを持ってこいと指示もあったりして、見積書の明細等を求められ、いろいろと面倒くさくなり、補助を断念したことがある。このような手続きは、もっと簡素化できないのか。

◇地域活用策のためにも公平にすべきかと思うが、全体的な問題として経緯等を確認してみる。

(後日の調査で、公民館改修に伴う補助金申請で、最初、予算要求のための簡易な見積書を求め、実際に申請をされる際に再度正式な見積書の提出を求めたときのことと判明した。通常、建設部において適正な見積りなのか、公共単価等と照らして審査してもらうが、途中で取り下げられたので、そこまで至っていない。今後は、見積書の様式を統一する。最初の申請時にしっかりと説明する。など改善をしていくとのこと。)

◆カーブミラーを安良地区も要望しているが、どういう結果になったのか、どういう状況なのか、できるのかできないのか、何も報告がない。回答するようにお願いしたい。

◇安心安全課だと思うが、確認して報告する。

(後日の調査で、要望を受け、主管課等で現地調査、設置の決定等を行っていくが、その後、設置の有無等については、連絡していなかったとのこと。今後は、要望書の中に決定の時期、設置の有無等の欄を設け、確実に連絡するように改善していくとのこと。)